

親の期待 期待実現 「教室」参加

緒論

スイミングスクールをはじめ、野球教室、サッカースクールなど、幼少年を対象とした地域スポーツクラブの普及、発展には目をみはるものがある。このような状況のもとで注目すべきいくつかの研究が¹⁾²⁾発表されているが、われわれは、スイミングスクール³⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾、空手道教室⁷⁾、野球教室⁸⁾などの一連の研究をとおして、スポーツクラブに通わせている親の期待および期待実現について追究してきた。しかし、これらの多くの研究対象は児童であって、幼児を対象とした研究はそれほど多くみられない。われわれは昨年から、跳んだり、はねたり、走ったりする「幼児のための体育教室」を対象として研究をすすめ、「体育教室」への参加が子どもの遊び生活を、よりのぞましい形に変容することを実証してきた⁹⁾。

本研究は、親の目からみた「活動的な子」と「活動的でない子」によって、体育教室入会の経緯・背景、親の期待と期待実現、遊び生活の変容などがどのように異なるかを解明しようとしたものである。

研究方法

調査時期：昭和59年 7月～ 9月

調査方法：質問紙法

調査対象：K体育教室参加者の親

有効回収数 369

有効回収率 57.2%

結果と考察

1. サンプルの年齢構成

表1は、サンプルを「活動的な子」と「活動的でない子」にわけて、それぞれの年齢構成を示したものである。「活動的な子」は6歳児のしめる割合が多く、「活動的でない子」には、5歳児までの比率が高い（有意水準1%）。

この事実は、以下の分析結果にも種々の影響を与えていると思われるので、特に注目しておかなければならない。

2. 体育教室入会の経緯・背景

体育教室に関する情報入手経路についてみると、表2から明らかのように、「活動的な子」の母親も、「活動的でない子」の母親も、幼稚園や保育園の先生からの口コミによる者が50%にもおよび、ついで知人や近所の人からの口コミ、新聞広告・パンフレットなどのミニコミの順になっている。

情報入手から入会の意志決定までの過程について見たのが、表3、表4である。表3からも明らかのように、母子

間の話し合いでは「活動的な子」には、子どものほうからせがむ形が多く、その反対に「活動的でない子」には、母親が子どもに説得する形が多い（有意水準 0.1%）。このことから、年齢構成を考慮しても、「活動的な子」と「活動的でない子」では、入会時の意欲にかなりの差異のあることが推察される。

表4は、「教室」加入についての両親間の話し合いの程度を示したものである。表4は一見、母親が中心で加入を決定しているようみえるが、むしろ、何らかの形で父親とも話し合いを持っていることがうかがえる。

3. 親の期待と期待実現

親の期待を「健康・体力づくり」「運動技能の向上」「精神力の養成」「社会性の育成」の4つにわけ、期待と期待実現との関係を示したのが表5である。親の期待を第1選択からみる限り、予想どおり「健康・体力づくり」「動技能の向上」「精神力の養成」「社会性の育成」の順になっている。

一方、表5の期待実現欄を見ると、その順位は期待の場合と変わらないことが明らかである。しかし、入会間もない子どもがいるため、無記不明が増加し、第1位の「健康・体力づくり」の比率が低下している中で、逆に第2位の「運動技能の向上」の比率が上昇していることに注目すべきであろう。これは、より効果の明白な「運動技能の向上」が、期待実現感に結びついたのではないかと考えられる。

上記の親の期待で、第1位と第2位を占めた「健康・体力づくり」と「運動技能の向上」について、より具体的に期待の内容を示したのが、表6、表7である。表6の「健康・体力づくり」では、「活動的な子」の母親も「活動的でない子」の母親も、「がんばりのきく身体にしたい」、「風邪をひかない子にしたい」などに期待をよせている。「がんばりのきく身体にしたい」「風邪をひかない子にしたい」などは、体育教室に子どもを預ける母親の共通の願いであることが明らかである。表7の「運動技能の向上」では、「活動的な子」の母親は、「運動好きにさせたい」と期待しているのに対し、「活動的でない子」の母親は「人なみの運動ができる子にさせたい」に期待していることがわかる。特に、「活動的でない子」の母親が「人なみの運動ができる子にさせたい」と期待していることは、年齢の低い子どもが比較的多いことを考えても、このような母親の願いは、きわめて具体的、現実的であり、親の切なる願いがあらわれていると思われる。

4. 教室参加に伴う遊び生活の変容

運動遊びについてみたのが表8である。「活動的な子」は入会以前から運動遊びをよくする子であったのに対して

表1 子どもの年齢構成

項目	3・4歳	5歳	6歳	無記不明	合計
活動的な子	11 (14.3)	17 (22.1)	49 (63.6)	0 (0.0)	77 (100.0)
活動的でない子	20 (21.3)	35 (37.2)	39 (41.5)	0 (0.0)	94 (100.0)

χ^2 テスト: d.f.=2, $P<0.01$

表2 情報入手経路

項目	知人や近所の人から	新聞広告・パンフレット	幼稚園・保育園の先生	その他	無記不明	合計
活動的な子	19 (24.7)	11 (14.3)	38 (49.3)	4 (5.2)	5 (6.5)	77 (100.0)
活動的でない子	13 (13.8)	15 (16.0)	53 (56.4)	7 (7.4)	6 (6.4)	94 (100.0)

χ^2 テスト: d.f.=3 n.s.

表3 入会までの話し合い (母子間)

項目	子どもからせがまれる	子どもに加入を説得する	その他	無記不明	合計
活動的な子	45 (58.4)	14 (18.2)	16 (20.8)	2 (2.6)	77 (100.0)
活動的でない子	28 (29.8)	48 (51.0)	15 (16.0)	3 (3.2)	94 (100.0)

χ^2 テスト: d.f.=1, $P<0.01$

表4 入会までの話し合い (夫婦間)

項目	特に相談しない	ちょっと相談した	慎重に話し合った	その他	無記不明	合計
活動的な子	8 (10.4)	53 (68.8)	13 (16.9)	2 (2.6)	1 (1.3)	77 (100.0)
活動的でない子	6 (6.4)	72 (76.6)	14 (14.9)	0 (0.0)	2 (2.1)	94 (100.0)

χ^2 テスト: df=2 $P<0.1$

表5 親の期待と期待実現（第1選択のみ）

項 目	第1位 健康・体力 づくり	第2位 運動技能の 向上	第3位 精神力の 養成	第4位 社会性の 育成	無記不明	合 計
活動的な子 期待	58 (75.3)	9 (11.7)	7 (9.1)	1 (1.3)	2 (2.6)	77(100.0)
活動的な子 実現	40 (51.9)	16 (20.8)	8 (10.4)	4 (5.2)	9 (11.7)	77(100.0)
活動的でない子 期待	59 (62.8)	17 (18.1)	7 (7.4)	7 (7.4)	4 (4.3)	94(100.0)
活動的でない子 実現	46 (48.9)	20 (21.3)	10 (10.6)	6 (6.4)	12 (12.8)	94(100.0)

表6 期待の具体的内容（健康・体力づくり）

項 目	風邪をひかない 子にさせたい	体格のいい子 にさせたい	がんばりのきく 子にさせたい	その他	無記不明	合 計
活動的な子	17 (22.1)	1 (1.3)	57 (74.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	77 (100.0)
活動的でない子	16 (17.0)	5 (5.3)	66 (70.2)	6 (6.4)	1 (1.1)	94 (100.0)

χ^2 テスト $df=2$ n.s.

表7 期待の具体的内容（運動技能の向上）

項 目	人なみの運動がで きる子にさせたい	運動好きな子 にさせたい	器用に運動で きる子にさせたい	その他	無記不明	合 計
活動的な子	14 (18.2)	52 (67.5)	9 (11.7)	1 (1.3)	1 (1.3)	77 (100.0)
活動的でない子	50 (53.1)	37 (39.4)	6 (6.4)	0 (0.0)	1 (1.1)	94 (100.0)

χ^2 テスト: $df=1$ $P<0.01$

表8 運動遊びについて（以前・現在）

項 目	よくする ほう	少しする ほう	ほとんどし ないほう	無記不明	合 計
活動的な子 (以前)	52 (67.5)	20 (26.0)	5 (8.5)	0 (0.0)	77 (100.0)
活動的な子 (現在)	68 (88.3)	8 (10.4)	1 (1.3)	0 (0.0)	77 (100.0)
活動的でない子 (以前)	9 (9.6)	39 (41.5)	43 (45.7)	3 (3.2)	94 (100.0)
活動的でない子 (現在)	29 (30.9)	53 (56.3)	9 (9.6)	3 (3.2)	94 (100.0)

以前 χ^2 テスト: $df=1$, $P<0.01$

現在 χ^2 テスト: $df=1$, $P<0.01$

表9 戸外での遊びについて (以前・現在)

項目	よく遊ぶほう	少し遊ぶほう	遊ばないほう	無記不明	合計
活動的な子 (以前)	58 (75.3)	14 (18.2)	4 (5.2)	1 (1.3)	77 (100.0)
(現在)	70 (90.9)	6 (7.8)	0 (0.0)	1 (1.3)	77 (100.0)
活動的でない子 (以前)	25 (28.6)	38 (40.4)	28 (29.8)	3 (3.2)	94 (100.0)
(現在)	41 (43.6)	39 (41.5)	11 (11.7)	3 (3.2)	94 (100.0)

以前 χ^2 テスト: $df=1$ $P<0.01$

現代 χ^2 テスト: $df=1$ $P<0.01$

「活動的でない子」は、運動遊びをあまりしていなかった子であることがわかる。これに対して、教室参加後の現在についてみると、「活動的な子」はより一層運動遊びをよくするようになっていくし、「活動的でない子」までもが何らかの形で運動するようになっていく点が目される。

表9は、戸外での遊びの変容について示したものである。この表は先の表8に示した運動遊びと、ほぼ同様の傾向を示していることが明らかであり、このことは運動遊びが戸外遊びの形で行われていることを示唆しているものである。

以上のように体育教室参加に伴って、運動遊びないしは戸外遊びが活発化している事実は、子どもの遊びの室内化が問題視されている今日、体育教室参加の機能として、特に注目すべき傾向であると思われるのである。

要約

「K体育教室」に対する親の期待を質問紙法で調査し、「活動的な子」と「活動的でない子」に2分して分析考察を試みた結果次のような知見を得た。

- 子どもたちを「活動的な子」(A群)と「活動的でない子」(B群)に2分すると、A群は3・4・5歳児よりも6歳児の比率が高く、B群にその反対の傾向のあることが確認された。この傾向は、以下の考察に際して慎重に配慮された。
- 「教室」入会時の情報入手経路中の注目すべき現象は、幼稚園や保育園の先生の勧めによる場合が、A・B両群ともに高率であったことである。
- 「教室」入会までの意志決定過程についてみると、A群では母親が入会をせがまれ、B群では母親が説得する形をとる場合が多かった。しかも、母親主導型にみえながらも入会の意志決定過程には父親も何らかの形で関与していることが明白にされた。
- 「教室」参加に対する親の期待には両群の差は認められず、一様に「健康・体力づくり」「運動技能の向上」「精神力の養成」「社会性の育成」の順であった。期待実現の順位もこれと変わらない。ただ、「活動的でない子」の母親

が「運動技能の向上」に関して、せめて「人なみの運動ができる子にさせたい」と願っていること、「運動技能の向上」の期待実現率が高いことが注目された。

5.「教室」参加に伴う運動遊び、戸外遊びの活発化がA・B両群に認められる中で、「活動的でない子」の場合、特にその変化が顕著であったことは、「教室」参加の重要な機能の一つが示唆されたものとして注目すべきである。

参考文献

- 永吉宏英・塚本真也「幼児・児童のスポーツ参加の社会的背景」体育社会学研究6、道徳書院(1977)P.101
- Osamu EBIHARA, Shinshiro EBASHI [Influence of Individual Family Members in Sport Involvement of Children] Journal of Leisure and Recreation Studies NO.9 (1982) p.21
- 桃沢聖子・田中鎮雄・山岸明郎・松林肇・武田正司「子どもの水泳教室参加に対する親の役割」日本レクリエーション学会第12回大会号(1982) p.10
- 山岸明郎・田中鎮雄・久保木優・松林肇「子どもの水泳教室参加に対する親の意志決定過程」日本レクリエーション学会第12回大会号(1982)p.11
- 桃沢聖子・田中鎮雄・山岸明郎・松林肇・武田正司「子どものスイミングスクール参加に対する親の期待」日本レクリエーション学会第13回大会号(1983) p.10
- 山岸明郎「地域少年スポーツクラブの社会教育機能」研究紀要日本大学人文科学研究所(1985) p.120
- 田辺英夫・田中鎮雄・松下三郎・日下修次・松村悦博「少年空手道教室に対する社会的期待」武道学研究(1985) P.65
- 松村悦博・田中鎮雄・武田正司「地域少年野球の成層化と親の期待」日本体育学会第35回大会号(1984) p.133
- 綿田育代・田中鎮雄・山岸明郎「子どもの体育教室参加に伴う遊び生活の変容」日本レクリエーション学会第14回大会号(1984) p.22~23